

義認

知っておきたいキリスト教のことば (50)

「義認」とは、その漢字のとおり「義と認められること」です。では義と認められるとは、どういうことなのでしょう。

まず、法的用語としての使われ方があります。罪人であるはずの人間に向かって、「あなたは義である」と宣告するのです。簡単にいうと、無罪放免です。「あなたの罪は赦された」と中風の人に対して語られたイエス様の言葉（マルコ2:5）を思い出します。

また、現在置かれた状況から解放され、正しい状態に戻されるという意味もあります。義とされるということは苦しみや抑圧から救い出され、神さまとの正しい関係になるということをも意味するのです。



ではわたしたちは、何をすれば義と認められるのでしょうか。イエス様が来られる前は、人は律法を守ることによって、神さまの前に義とされると考えられていました。しかし、人間の力だけで神さまの前に正しい者となることは不可能です。人は思いや言葉や行いによって、罪を犯してしまうからです。

パウロはその手紙の中で、「信仰義認」という考えを示しました。人は行いによって義とされることはなく、キリストへの信仰によってのみ義とされるというものです。そしてルターは、宗教改革の中で「信仰義認」についての理解を深め、それがプロテスタント教会の福音理解の柱となっていきます。

わたしたちはイエス様の十字架の死による贖いにより、罪の中にあるわたしたち一人ひとりが義とされることを信じています。そしてそのことによってのみ、わたしたちは神さまとの正しい関係の中に入れられるのです。

わたしたちはイエス様を受け入れるという信仰によって、神さまとの交わりに迎え入れられるのです。

次回は「希望」です。お楽しみに。